



アプリケーションボリュームを管理します。 SnapCenter software

NetApp
January 09, 2026

目次

アプリケーションボリュームを管理します。	1
アプリケーションボリュームとは	1
アプリケーションボリュームを追加	1
アプリケーションボリュームの変更	2
アプリケーションボリュームを削除する	2
バックアップアプリケーションボリューム	2
アプリケーションボリュームのバックアップ	2
アプリケーションボリュームリソースグループをバックアップする	4
アプリケーションボリュームのバックアップをクローニング	5
アプリケーションボリュームのクローンをスプリットする	6
アプリケーションボリュームのクローンを削除する	6

アプリケーションボリュームを管理します。

アプリケーションボリュームとは

Application Volumesは、Oracleデータベースに関連する設定、インストーラ、その他のデータ以外のファイルなどの情報を格納するストレージです。

SnapCenter Plug-in for Oracle Databaseでは、アプリケーションボリューム（データボリューム以外のボリューム）とOracleデータベースの整合性のあるバックアップを作成できます。

このプラグインは、アプリケーションボリュームのバックアップとクローニングを自動化します。

- アプリケーションボリュームとOracleデータベースボリュームを1つのリソースグループで保護します。
- アプリケーションボリュームのバックアップを作成します。
- Oracleデータベースとアプリケーションボリュームのバックアップを作成します。
- ポイントインタイムまでのアプリケーションボリュームとともに、データベースのクローンを作成します。
- バックアップ処理のスケジュールを設定します。
- すべての処理を監視します。
- バックアップ処理とクローニング処理のレポートを表示します。

アプリケーションボリュームを追加

SnapCenterは、Oracleデータベースのアプリケーションボリュームのバックアップとクローニングをサポートしています。アプリケーションボリュームは手動で追加する必要があります。アプリケーションボリュームの自動検出はサポートされていません。



アプリケーションボリュームでは、直接NFS接続と直接iSCSI接続のみがサポートされます。

- 手順 *
 1. 左側のナビゲーションペインで、* リソース * をクリックし、リストから Oracle データベースプラグインを選択します。
 2. [アプリケーションボリュームの追加] をクリックします。
 3. [名前] ページで、次の操作を実行します。
 - [Name]フィールドに、アプリケーションボリュームの名前を入力します。
 - [Host Name]フィールドにホストの名前を入力します。
 4. 「ストレージ フットプリント」 ページで、次のアクションを実行します。
 - ストレージタイプを選択します。
 - ストレージ システム名を入力します。
 - ストレージユニットを選択します。

複数のストレージユニットを追加できます。

5. 概要を確認し、[完了]をクリックします。
6. [リソース] ページで、**View** リストから * アプリケーションボリューム * を選択すると、追加したすべてのアプリケーションボリュームが表示されます。

アプリケーションボリュームの変更

バックアップが作成されていない場合は、アプリケーションボリュームの追加時に指定したすべての値を変更できます。バックアップが作成された場合、変更できるのはストレージシステムの詳細だけです。

• 手順 *

1. 左側のナビゲーションペインで、* リソース * をクリックし、リストから Oracle データベースプラグインを選択します。
2. [リソース] ページで、[* 表示] リストから [* アプリケーションボリューム *] を選択します。
3.  をクリックし、 で値を変更します。
4.  をクリックし、 で値を変更します。

アプリケーションボリュームを削除する

アプリケーションボリュームを削除すると、アプリケーションボリュームに関連付けられているバックアップがある場合、アプリケーションボリュームはメンテナンスモードになり、新しいバックアップは作成されず、以前のバックアップは保持されません。バックアップが関連付けられていない場合は、すべてのメタデータが削除されます。

必要に応じて、SnapCenterで削除操作を元に戻すことができます。

• 手順 *

1. 左側のナビゲーションペインで、* リソース * をクリックし、リストから Oracle データベースプラグインを選択します。
2. [リソース] ページで、[* 表示] リストから [* アプリケーションボリューム *] を選択します。
3. クリック  アプリケーションボリュームを削除します。

バックアップアプリケーションボリューム

アプリケーションボリュームのバックアップ

アプリケーションボリュームがいずれのリソースグループにも属していない場合は、[Resources] ページからアプリケーションボリュームをバックアップできます。

• このタスクについて *

デフォルトでは、整合グループ (CG) バックアップが作成されます。ボリュームベースのバックアップを作成する場合は、_web.config ファイルで **EnableOracleNdvVolumeBasedBackup** の値を true に設定する必

必要があります。

• 手順 *

1. 左側のナビゲーションペインで、*リソース* をクリックし、リストから Oracle データベースプラグインを選択します。
2. [リソース] ページで、[* 表示] リストから [* アプリケーションボリューム *] を選択します。
3. * をクリックし 、ホスト名とデータベースタイプを選択してリソースをフィルタリングします。

次に、** をクリックしてフィルタペインを閉じることができます .

4. バックアップするアプリケーションボリュームを選択します。

[Application volume - Protect] ページが表示されます。

5. [Resource] ページで、次の操作を実行します。

フィールド	操作
Snapshotコピーにカスタムの名前形式を使用する	このチェックボックスをオンにして、Snapshot名に使用するカスタムの名前形式を入力します。 たとえば、customText__policy_hostname や resource_hostname などです。デフォルトでは、Snapshot名にタイムスタンプが追加されません。
アーカイブログデスティネーションをバックアップから除外	バックアップしないアーカイブログファイルのデスティネーションを指定します。

6. [Policies] ページで、次の手順を実行します。

- a. ドロップダウンリストから1つ以上のポリシーを選択します。



** をクリックしてポリシーを作成することもできます .

[選択したポリシーのスケジュールを設定] セクションに、選択したポリシーが一覧表示されません。

- b. スケジュールを設定するポリシーの[Configure Schedules]列で、 をクリックします。
- c. [Add schedules for policy_name] ウィンドウで、スケジュールを設定し、[OK] をクリックします。

_policy_name_ は、選択したポリシーの名前です。

設定されたスケジュールは、[適用されたスケジュール] 列に一覧表示されます。

7. [通知] ページの [電子メールの設定 *] ドロップダウンリストから、電子メールを送信するシナリオを選択します。

また、送信者と受信者のEメールアドレス、およびEメールの件名を指定する必要があります。リソース上で実行されたバックアップ処理のレポートを添付する場合は、[ジョブレポートの添付]を選択します。



Eメール通知を使用する場合は、GUIまたはPowerShellコマンドSet-SmSmSmtServerを使用して、SMTPサーバの詳細を指定しておく必要があります。

1. 概要を確認し、[完了]をクリックします。

アプリケーションボリュームのトポロジページが表示されます。

2. [今すぐバックアップ]をクリックします。
3. Backup (バックアップ) ページで、次の手順を実行します。
 - a. リソースに複数のポリシーを適用している場合は、「* Policy *」ドロップダウン・リストから、バックアップに使用するポリシーを選択します。
 - b. [バックアップ]をクリックします。
4. 操作の進行状況を監視するには、* Monitor * > * Jobs * をクリックします。

アプリケーションボリュームリソースグループをバックアップする

アプリケーションボリュームのみ、またはアプリケーションボリュームとデータベースが混在したリソースグループをバックアップできます。リソースグループのバックアップ処理は、リソースグループに定義されているすべてのリソースに対して実行されます。

リソースグループに複数のアプリケーションボリュームが含まれている場合は、すべてのアプリケーションボリュームにSnapMirrorまたはSnapVaultレプリケーションポリシーを設定する必要があります。

• このタスクについて *

デフォルトでは、整合グループ (CG) バックアップが作成されます。ボリュームベースのバックアップを作成する場合は、_web.config ファイルで **EnableOracleNdvVolumeBasedBackup** の値を true に設定する必要があります。

• 手順 *

1. 左側のナビゲーションペインで、* リソース * をクリックし、リストから Oracle データベースプラグインを選択します。
2. [リソース] ページで、[* 表示] リストから [* リソースグループ *] を選択します。

リソースグループを検索するには、検索ボックスにリソースグループ名を入力するか、をクリックし  でタグを選択します。次に、をクリックしてフィルタペインを閉じることができます .

3. [リソースグループ] ページで、バックアップするリソースグループを選択し、[今すぐバックアップ *] をクリックします。
4. Backup (バックアップ) ページで、次の手順を実行します。
 - a. 複数のポリシーをリソースグループに関連付けている場合は、「* Policy *」ドロップダウンリストから、バックアップに使用するポリシーを選択します。

オンデマンドバックアップ用に選択したポリシーにバックアップスケジュールが関連付けられている場合、オンデマンドバックアップは、スケジュールタイプに指定した保持設定に基づいて保持されます。

b. [バックアップ] をクリックします。

5. 操作の進行状況を監視するには、* Monitor * > * Jobs * をクリックします。



検証処理はデータベースに対してのみ実行され、アプリケーションボリュームに対しては実行されません。

アプリケーションボリュームのバックアップをクローニング

SnapCenterを使用して、アプリケーションボリュームのバックアップをクローニングできます。

• 始める前に *

root以外のユーザとしてプラグインをインストールした場合は、実行権限をプリスクリプトディレクトリとポストスクリプトディレクトリに手動で割り当てる必要があります。

• 手順 *

1. 左側のナビゲーションペインで、* リソース * をクリックし、リストから Oracle データベースプラグインを選択します。
2. [リソース] ページで、[* 表示] リストから [* アプリケーションボリューム *] を選択します。
3. アプリケーションボリュームの詳細ビューまたはリソースグループの詳細ビューでアプリケーションボリュームを選択します。

アプリケーションボリュームのトポロジページが表示されます。

4. [コピーの管理] ビューで、ローカルコピー（プライマリ）、ミラーコピー（セカンダリ）、バックアップコピー（セカンダリ）のいずれかのバックアップを選択します。
5. 表からバックアップを選択し、** をクリックします .
6. Location ページで、次のアクションを実行します。

フィールド	操作
プラグインホスト	クローンを作成するホストを選択します。
ターゲットリソース名	リソース名を指定します。

7. [Scripts] ページで、クローニング前に実行するスクリプトの名前、ファイルシステムをマウントするコマンド、およびクローニング後に実行するスクリプトの名前を指定します。
8. [通知] ページの [電子メールの設定 *] ドロップダウンリストから、電子メールを送信するシナリオを選択します。

また、送信者と受信者のEメールアドレス、およびEメールの件名を指定する必要があります。実行したクローン処理のレポートを添付する場合は、* ジョブレポートの添付 * を選択します。



Eメール通知を使用する場合は、GUIまたはPowerShellコマンドSet-SmSmSmtServerを使用して、SMTPサーバの詳細を指定しておく必要があります。

1. 概要を確認し、[完了]をクリックします。

アプリケーションボリュームのクローンをスプリットする

SnapCenterを使用して、クローンリソースを親リソースからスプリットできます。スプリットされたクローンは親リソースから独立します。

• 手順 *

1. 左側のナビゲーションペインで、* リソース * をクリックし、リストから Oracle データベースプラグインを選択します。
2. [リソース] ページで、[* 表示] リストから [* アプリケーションボリューム *] を選択します。
3. クローニングされたリソースを選択し、をクリックします 。
4. スプリットするクローンの推定サイズとアグリゲートで使用可能なスペースを確認し、* Start * をクリックします。
5. 操作の進行状況を監視するには、* Monitor * > * Jobs * をクリックします。

アプリケーションボリュームのクローンを削除する

不要になったクローンは削除できます。他のクローンのソースと同様に機能するクローンは削除できません。

• 手順 *

1. 左側のナビゲーションペインで、* リソース * をクリックし、リストから Oracle データベースプラグインを選択します。
2. [リソース] ページで、[* 表示] リストから [* アプリケーションボリューム *] を選択します。
3. リストからリソースまたはリソースグループを選択します。

リソースまたはリソースグループのトポロジページが表示されます。

4. [コピーの管理] ビューで 'プライマリまたはセカンダリ (ミラーまたはレプリケートされた) ストレージ・システムから [クローン *] を選択します
5. クローンを選択し、 をクリックします。
6. Delete Clone ページで、次の操作を実行します。
 - a. [* Preclone delete *] フィールドに、クローンを削除する前に実行するスクリプトの名前を入力します。
 - b. Unmount * フィールドで、クローンを削除する前にクローンをアンマウントするコマンドを入力します。
7. [OK]*をクリックします。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。